

フランス留学のきっかけ(2) 大学の授業開始



前回はフランス語学習を始める前段階についてお話ししましたが、さて、いよいよ4月。大学の授業が始まりました。フランス語は文法の授業2コマと、ネイティブの先生による会話の授業の計3コマが必修。私はもう1コマ、会話の授業をとっていました。文法の授業では、最初に発音のルールを口の構造の図を使って習い、いよいよ文法の学習がスタート。とりあえずは、順調にすべりだしました。

会話の授業はネイティブの先生



そしてネイティブの先生の会話の授業初日。先生が教室にいらっしゃるなり、ぺらぺらと何かをしゃべっています。え、え、え！？とざわつく教室。そう、いきなり、**全てフランス語**で授業が始まったのです！文法の授業も一度しか受けていないというのに、**クラス中大混乱**。

何やら先生が自己紹介をしたらしい（名前しか理解できず・・・）、と思ったら、次は出席確認。" Monsieur ? " " Oui." のやりとりから始まり、男子学生は" Présent."、女子学生は" Présente."
"（どちらも、「出席しています」の意味です）と答えるように指示されているらしい、と何となく分かって返事。

そして次は、" Qu'est-ce que c'est ? " " C'est un livre." のやりとりが始まりました。「これは何ですか？」と質問されていることは分かったものの、物の名前が分からないので答えられない！そしてなにより、**「分かりません」が言えない！！！！**
こんな学生たちの反応を楽しむかのように、先生から次々に浴びせかけられる質問。

あとがき

そして・・・授業終了5分前、先生は流暢な日本語でさらさら～っと宿題を述べ、Bon appétit !
と言って教室を去っていったのです。

や・ら・れ・た~~~~!!!

今回は先生の質問のひとつは答え
てみせるぞ!と、このとき、少しフランス語への闘志が燃え始めました。



執筆 momo

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

